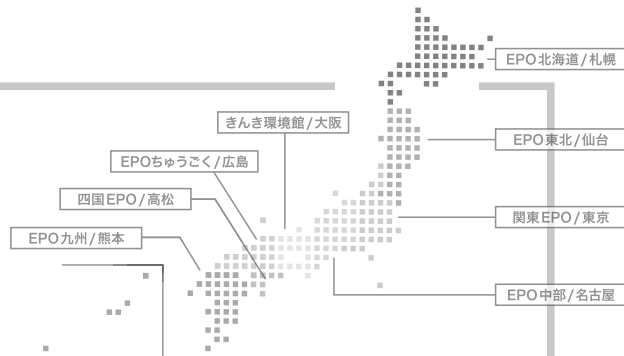


つながる EPO ネットワーク

全国8カ所に設置された
環境パートナーシップオフィス (EPO) の活動



環境ボランティアなびの役割

高橋朝美 (環境省関東地方環境パートナーシップオフィス)

関東EPOでは、『環境ボランティアなび』(以下、環ボラなび)という冊子を平成25年度から毎年発行している。環ボラなびは、「環境保全の担い手を増やす」ことを目的とし、関東ブロックの環境保全に取り組む団体のボランティア募集情報を掲載し、首都圏近郊の企業のCSR担当や、大学のボランティアセンター等に配布をしてきた。

しかし、2015年、2030アジェ



環ボラなび 2018

環ボラは以下より
ダウンロード可能



ンダ及びパリ協定が相次いで採択された。このことは、私たちの暮らす世界の課題はより複雑に絡み合い、どれか一つ、たとえば環境課題だけの解決はあり得ないということ、さらに、人間活動がもたらす地球環境への悪影響が、もう見過ごすことも、小手先の工夫でどうにかできるものでもないレベルに達していることを象徴している。

こうした時流の中で、私たちは環ボラなびを通じて「ボランティア」の価値を問い直している。ボランティアの価値は、単なる「自己実現の機会」「自分探しのイベント」だけではない。ボランティアを通じて市民活動に関わるという事は、それが環境分野であっても、オリンピック・パラリンピックであっても、個人の意思で主体的に地域や社会の課

題の一端に触れることに他ならない。

環ボラなびでは、「渋谷から赤道直下まで、現場があなたを待っている」をキャッチコピーに、これを手にとった人の、環境分野を入口とした、社会への関わりをナビゲートしている。過去には企業のCSR活動のレポートや、プロボノの特集、NPOに就職をした若者のインタビュー記事などを掲載している。環ボラなびが、それぞれの生き方に合った、社会への主体的な関わりを考えるきっかけになれば幸いです。

環境省関東地方環境パートナーシップ
オフィス コーディネーター
高橋朝美(たかはし あさみ)

学生時代よりグリーンツーリズムに携わり、産直交流をメインとする農協へ就職。自然資源と生業、生産と消費など、多くのテーマに出会う。2014年より現職。主に地域での協働体制づくりの伴走支援を行っている。

つな環

第33号

2019年3月発行

編集・発行：地球環境パートナーシッププラザ
<http://www.geoc.jp/>
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-70国連大学1F
Tel. 03-3407-8107 Fax. 03-3407-8164
開館時間：10:00～18:00(火～金曜)
セミナー開催時は21:00まで
10:00～17:00(土曜)
休館日：日曜・月曜・祝日・年末年始

関東地方環境パートナーシップオフィス(関東EPO)
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山B1F
Tel. 03-3406-5180 Fax. 03-3406-5064
業務時間：10:00～18:00
休業日：土曜、日曜、祝日、年末年始

デザイン：安食正之(北路社)
印刷：光写真印刷株式会社

GEOC/EPOからのお知らせ

環境省では、関心が高まる海洋プラスチックごみの問題に対する社会全体での取組を応援するため、2018年10月に「プラスチック・スマート」キャンペーンを開始しました。

また、このキャンペーンに賛同する企業・団体の交流を目的とした「プラスチック・スマート」フォーラムを立ちあげました。フォーラムでは会員間の情報の共有、関係団体と連携したイベント等を行っていきます。

<http://plastics-smart.env.go.jp/>



プラスチック・スマートのロゴ。

つな環編集部

星野智子、尾山優子、山口史子、江口健介、藤本亜子、村尾幸太、
浦林貴子、今井麻希子(順不同)

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。
<http://www.geoc.jp/information/tsunakan>